

## 一般社団法人くらしサポート・ウィズ年表（2026年5月作成）

### 目次

- ・ 生活サポート生活協同組合・東京 設立まで（2004～2007年）
- ・ 相談事業をパルシステムから受託するまでの流れ（2008～2009年）
- ・ 相談事業・消費者教育事業の発展（2010～2013年）
- ・ 生活サポート生協 解散まで（2014～2016年度）
- ・ 一般社団法人くらしサポート・ウィズ設立から現在まで（2016年12月～2025年度）

### 生活サポート生活協同組合・東京 設立まで（2004～2007年）

年	月	出来事
2004	8	第1回信用福祉生協世話人会を生活科学運営本部で開催（世話人会は2004/8/25～2004/10/27迄）
	11	第1回東京福祉信用生活協同組合設立発起人会設立（賛成者300名以上とする）（2004/11/27）
2005	12	貸付事業を行う法人として、有限責任中間法人生活サポート基金設立（2005/12/14）
2006	7	相談事業を行う法人として、生活サポート生活協同組合・東京を設立。7月9日に設立総会開催。
	12	臨時創立総会（2006/12/11）および東京都事業認可（生協）を受ける（2006/12/26）
2007	1	第1回理事会開催（2007/1/18）および法人登記（2007/1/30）
	7	世田谷区赤堤から中央区銀座へ移転（2007/7/23）

### 相談事業をパルシステムから受託するまでの流れ（2008～2009年）

年	月	出来事
2008	3	生活サポート基金が東京都多重債務者生活再生事業開始
	7	定款の事業目的変更（2008/7/11）
	8	理事会のもとに事業領域検討委員会設置（8回開催）
2009	5	事業領域検討委員会答申をもとに第3回総会で今後の在り方について確認
	6	・ 総会での確認後、パルシステムの生活相談事業を受託、「くらしの何でも相談」から「くらしの相談ダイヤル」に改称 ・ 事務所をパルシステム連合会新大塚分室へ移転

相談事業・消費者教育事業の発展（2010～2013年）

年度	相談事業	組織・体制等
2010年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パルシステム東京から業務を受託・消費生活基礎講座など開催</li> <li>・反貧困ネットワークとNPO ライフリンク作成冊子「困った時の相談先リスト」に相談先として掲載される</li> <li>・東日本大震災後、10日間相談業務休止</li> </ul>	
2011年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を週3日から週4日に変更</li> <li>・テーマテレフォン（こころの相談）受託</li> <li>・東京都、東京都生活協同組合連合、全国大学生生活協同組合連合会（東京）と協働事業実施</li> <li>・金銭教育冊子発行</li> <li>・子育て（愛着形成）・相続などの学習会開催</li> </ul>	
2012年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部相談増加（22％・前年度5％）</li> <li>・困難者の年末相談会パルシステムグループへ支援要請/750人分食糧支援</li> <li>・パルシステム連合会「消費者問題基礎講座」受託</li> <li>・自主勉強会「消費者運動の意義と役割」開催</li> <li>・テーマ別学習会実施（いじめなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回総会記念講演 賀川督明氏</li> <li>・第7回総会で目的や事業の定款変更</li> </ul>
2013年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を週4日から週5日に変更</li> <li>・大学生を対象に、自立した消費者の育成を目指して3講座を開催</li> <li>・生協職員向け消費者教育や研修、学習会実施</li> <li>・国民生活センター主催の「全国消費者フォーラム」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員と事務局を業務委託契約から定時職員契約に変更</li> <li>・東京都生活文化局の定例検査で業務改善指導（員外利用、監事監査、規約や運営）</li> <li>・第8回総会記念講演 奥田 知志氏</li> </ul>

生活サポート生協 解散まで（2014～2016 年度）

年度	相談事業	若者支援事業	組織・体制
2014 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パルシステム東京組合員向け企画 3 回実施</li> <li>・ 「貧困問題を考える」 講座 2 回実施</li> <li>・ 職員向け消費者教育推進法の学習会</li> <li>・ ろうきん協会協力のもと、テキスト「マネートラブルにかつ！」を発行</li> </ul>	<p>協同組織のインターンシッププログラム（ブレ）実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サポート生協ニューズレター発行開始</li> <li>・ 第 9 回総会で出資金を 1 口 5,000 円から 500 円に変更</li> </ul>
2015 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部相談増加（31％）</li> <li>・ 「ほっこりカフェ成人した子どもの悩み」開催</li> <li>・ パルシステム東京と共催で身近な貧困講座を 3 回開催</li> </ul>	<p>「非営利・協同のしごと研究会」開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事会の下に「事業構造改革検討委員会」設置、2 月答申</li> <li>・ 11/21 に事務所を文京区から新宿区に移転</li> <li>・ 第 10 回通常総会で、2016 年度末をもって解散、新法人を設立し事業を移行することを報告。</li> </ul>
2016 年度			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月に新法人設立プロジェクトを理事会の下に設置し、生協の解散、新法人設立について検討。9 月答申、解散までのスケジュールを確認。</li> <li>・ 一般社団法人設立に向けて発起人会を立ち上げ、理事会で残余財産の扱いの考え方を決めた。</li> <li>・ 全組合員（323 人）へ解散に関する説明文及び出資金返還に関する手紙を送付、組合員説明会実施。多くの組合員から理解をいただき、事前脱退手続きの際に新法人への寄付（91 人）と賛助会員への移行（39 人）をいただく。</li> </ul>

一般社団法人くらしサポート・ウィズ設立から現在まで (2016年12月～2025年度)

年度	相談事業	若者支援事業	居住支援事業	組織・体制
2016/12/20				一般社団法人くらしサポート・ウィズ設立総会設立総会 [設立時社員] 生活クラブ生活協同組合(土谷雅美)、生活サポート生活協同組合・東京(亀山裕二)、パルシステム生活協同組合連合会(石田敦史)
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「若者や女性の生きづらさ」は社会の問題であることを多くの人に知ってもらうために企画開催(地域ささえあい助成企画など)</li> <li>・専門相談(ふくしの心配事、離婚・DV、成人した子の悩みカウンセリング)</li> <li>・年間相談件数1,000件突破(2017年度1,078件)</li> </ul>	立教サービスラーニング・プログラムの設計協力、受入		業務効率化をはかるため、Kintone導入
2018年度	女性、若者の自立につながる企画開催(成人した子の悩みをもつ親向けカフェ4回、ひきこもり女子会2回、離婚の知識講座、社会的養護の下を巣立った若者応援2回)	首都圏若者サポートネットワークの共同事務局に参加。社会的養護下にある子の自立支援(体験就労プログラム)の構築。	第3回総会で定款変更、目的に居住支援事業を追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジンの配信スタート</li> </ul>

2019 年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月から、パルシステム給付型奨学金伴走支援事業の伴走支援に関わる業務を受託（モデル事業として、2名の学生を伴走支援する）。</li> <li>・首都圏若者サポートネットワークの就労支援コーディネーターを受託。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月15日東京都より居住支援法人の指定を受け、居住支援法人としての活動開始。相談実績21件。</li> <li>・6月の全国居住支援法人協議会総会以降、事務局業務をパルシステム連合会から引き継ぎ、受託。</li> </ul>	
2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響で7月以降電話相談が急増。</li> <li>・新型コロナの影響続く中対面企画は中止。</li> <li>・5月「くらしの困りごとLINE相談」開始</li> <li>・年間相談件数2,000件突破（2020年度2,328件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりインターンシップはすべてオンライン開催で実施。</li> <li>・パルシステム給付型奨学金モデル事業で4名の伴走支援実施。役職員向けにオンライン報告会実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援に専門の相談担当を配置。相談実績81件。</li> <li>・全居協ではオンライン研修会実施。</li> </ul>	
2021 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でさらに電話相談件数が増え、月平均225件になる。</li> <li>・パルシステム共済連のLPA（ライフプランアドバイザー）のタスクチームに参画。</li> </ul>	<p>パルシステム給付型奨学金制度で組合員募金が始まり、連絡会議の事務局も担当。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援相談は100件となり、7件の住まいをマッチング。</li> <li>・全居協では居住支援研修会、リーダー研修会に加え、アドバイス事業も開始。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談事業」「居住支援事業」「インターンシップ事業」の紹介動画を作成。</li> <li>・ホームページを大幅リニューアル。</li> </ul>
2022 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり女子会の継続5年目となり、ひきこもり講演会・交流会を行う。</li> <li>・パルシステム共済連のLPAのタスクチームと離婚を考えている方むけの学習会を開催。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援相談は108件となり、12件の住まいをマッチング。</li> <li>・全居協では国土交通省からの補助事業を直接受託。</li> </ul>	<p>事業を「相談事業」「居住支援事業」「若者支援事業」の3事業に整理。</p>

2023 年度	<p>パルカレッジ生協基礎講座初級の講座コーディネート、3年目、4年目、中途採用研修での講義を受託。</p>	<p>つながりインターンシップ@協同の取り組みが10年目となる。CO・OP共済ささえあい助成の協賛1年目で、大学生と紹介動画を作成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援相談は112件となり、16件の住まいをマッチング</li> <li>・全居協では、住宅セーフティネット法改正に向け国交、厚労、法務3省とあり方検討会開催、緊急シンポジウム等実施。</li> </ul>	
2024 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり女子会や若者支援の利用者から居住支援相談につながるケースあり。</li> <li>・パルシステム神奈川からの依頼で実施した離婚学習会に254名の応募。</li> </ul>	<p>首都圏若者サポートネットワークで継続してきた「体験就労プログラム」の成果について調査を実施し、報告書作成とシンポジウムを開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援相談は142件となり、13件の住まいをマッチング。</li> <li>・全居協ではこれまでの要望活動が2024年5月の住宅セーフティネット法改正の内容に反映。</li> </ul>	
2025 年度	<p>パルシステム組合員からの相談利用率向上を目標に掲げ、組合員利用率60%を達成。</p>	<p>OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会）主催の大学生向け「お仕事体験交流会」に協力。</p>	<p>残置物処理等業務を初めて実施。</p>	